

注意!!

二酸化炭素消火設備の誤作動

令和2年12月に愛知県名古屋市内の立体駐車場、令和3年1月に東京都港区の地下駐車場、令和3年4月に東京都新宿区の地下駐車場において、二酸化炭素を消火剤とする消火設備から二酸化炭素が誤って放出され、複数の死者及び負傷者が出る事故が発生しました。

皆様の建物で同様の事故を起さないよう、次の事項にご注意ください。

1 工事・メンテナンス時

二酸化炭素消火設備又はその付近で工事やメンテナンスを行う場合には

誤作動や誤放出を防止するため、**第三類の消防設備士又は二酸化炭素消火設備を熟知した第一種の消防設備点検資格者**が立ち会って監督を行うことにより、必要な安全対策の管理がなされる体制を確保する。

工事従事者に対し、**消火剤が放出されないよう閉止弁を閉止する**等の措置を講じた上でなければ当該工事等を開始しないなど、必要な安全対策の内容について説明し、当該安全対策の確実な履行を徹底する。

関係者以外の人が入り込まないように管理を徹底する。

2 建物利用者等への周知

防火管理者や自衛消防隊員、二酸化炭素消火設備設置場所の利用者等に対して、**二酸化炭素の人体に対する危険性、設備の適正な取扱方法、作動の際の対応方法、避難方法等**について周知する。

3 消火設備作動時の対応

二酸化炭素消火設備の消火剤が放出された場合には、**すぐに119番通報**して、放出場所に人を立ち入らせない。

二酸化炭素消火設備についての Q&A

Q1: 二酸化炭素消火設備とは、どのような設備ですか。

A1: 二酸化炭素消火設備は主に窒息消火により火災を鎮火させるための消火設備で、固定式と移動式があります。

Q2: 二酸化炭素消火設備は、どのような建物に設置されていますか。

A2: 二酸化炭素(気体)であるため、消火に伴う汚染が少なく、電気絶縁性があることから、一定規模以上の通信機器室、電気室、ボイラー室、駐車場などに設置されています。

Q3: 二酸化炭素消火設備の消火剤は、どのようにすると放出されますか。

A3: 以下の2通りがあります。

手動起動装置(操作箱)の起動ボタンを押すと放出する場合
(手動起動装置の箱を開放すると、音声警報が鳴動します。)

火災による感知器の作動と連動して自動放出する場合

Q4: 二酸化炭素消火設備が作動した場合、どのような危険がありますか。

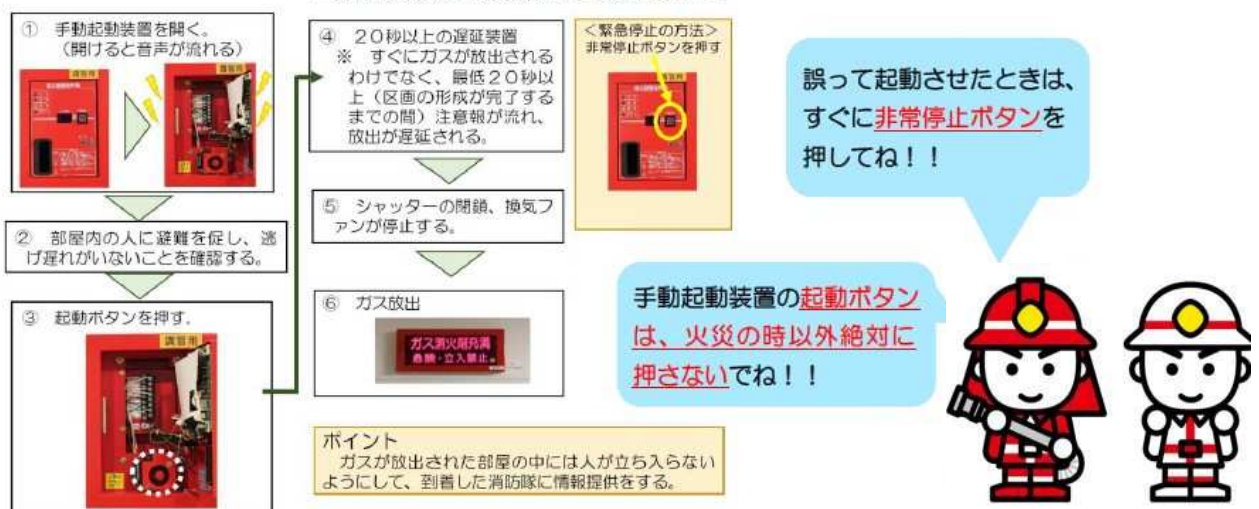
A4: 消火剤である二酸化炭素には毒性(麻醉性)があるため、高濃度の二酸化炭素を人が吸うと即時に意識喪失し、酸素欠乏症に陥り死に至る危険性があります。

なお、安全のため二酸化炭素消火剤の放出前には、音声による警報が行われます。

Q5: 主な二酸化炭素消火設備の誤放出の原因は何ですか。

A5: 二酸化炭素消火設備の手動起動装置の起動ボタン(下記のフローを参照)を誤って押してしまったために、放出してしまったという事故が発生しています。

二酸化炭素消火設備の手動起動フロー



問い合わせ先

○福井市消防局 予防課 0776-20-3997(直通)